

ナンバリング	科目名	サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
111AC13	実務基礎能力論 1A～4A	適性検査の傾向と対策	関 雄介・田中奏々 大野俊尚・田邊友昭	1 年次前期	2
科目区分	基礎	キーワード	SPI 四則計算 割合 濃度 速度		
ディプロマポリシーとの対応	1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応	1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目	特になし				
オフィスアワー	授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法	教員の短大メールアドレス				
講義の目的	近年、多くの企業の就職試験に適性検査が導入されている。適性検査は能力適性検査と性格適性検査の2つから構成されており、能力適性検査では主に国語（言語分野）や数学（非言語分野）などの実務に必要な能力が問われる。本講義では、社会人になった時に求められる実務をこなせる基礎能力の習得を第一の目的としており、主に非言語分野についての習熟を目指す。				
到達目標	計算能力の正確さとスピードの向上、文字変数を利用した解法の習熟等、適性検査に必要なスキルのブラッシュアップを目標とする。				
講義内容	SPI3、GABなどの問題及びこれらの問題に必要なとなる数学について演習を行う。数多くの問題を解くことで、その解法の理解が進み、解答にかかる時間が短縮される。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第1講	ガイダンス	授業の必要性和今後の流れ		
	第2講	四則計算(1)	計算の復習		
	第3講	四則計算(2)	文字式の計算と方程式		
	第4講	グラフの問題	不等式とグラフ		
	第5講	金銭の問題(1)	料金の割引		
	第6講	金銭の問題(2)	料金の精算		
	第7講	金銭の問題(3)	損益算		
	第8講	金銭の問題(4)	分割払い		
	第9講	小テスト	前半のまとめ		
	第10講	割合の問題	百分率、仕事算		
	第11講	速さの問題	速さ・時間・距離		
	第12講	順列の問題	場合の数（順列）		
	第13講	組み合わせの問題	場合の数（組み合わせ）		
	第14講	確率の問題	サイコロとコイン、カードと色玉など		
第15講	資料の読取問題	表やグラフなど			
指導方法	毎回、講義スケジュールに沿ったテーマで演習問題を実施し、解答およびその解説を行う。また、適宜、テキスト以外の資料を配付する。				
事前学習	これまでに学んできた数学の知見をおさらいしたうえで、この授業に備える。1時間30分程度の学習時間を目安とする。				
事後学習	授業内で解いた演習問題をあらためて解き、解法・解説とともに自分で他の問題に取り組んで、解法の定着を図る。1時間30分程度の学習時間を目安とする。				
成績評価方法	本試験（筆記試験）50%、平常点（授業内テスト等）50%で総合的に評価する。なお、コース分けによる成績結果の公平性の担保のため、単位取得時の評価はコースにより異なる。				
課題（試験・レポート）に対するフィードバックの方法	随時、授業内でフィードバックする。				
テキスト	初回授業で指示する。				
参考文献	柳本 新二『「1日10分」から始めるSPI基本問題集 27年版』 大和書房。				
実務家教員による授業		教員 経歴			
特記事項	プレイスメントテストの成績により、1、2、3、4のコース分けを実施する。				